

岩手県立大学 令和4年度

卒業年次生アンケート

調査結果報告書（抜粋）

令和5（2023）年3月

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果の抜粋・要約	2



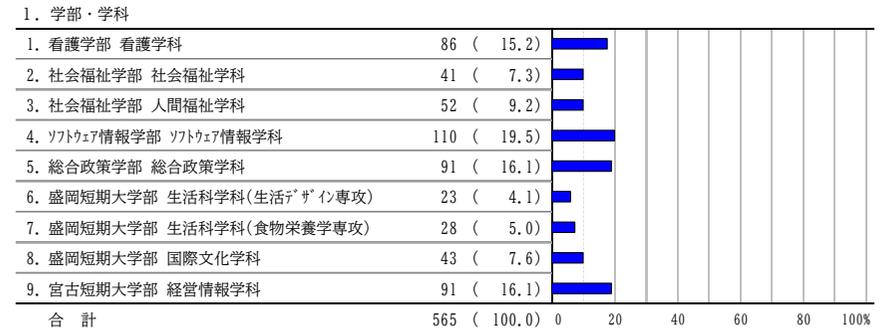
公立大学法人
岩手県立大学
Iwate Prefectural University

I. 調査の概要

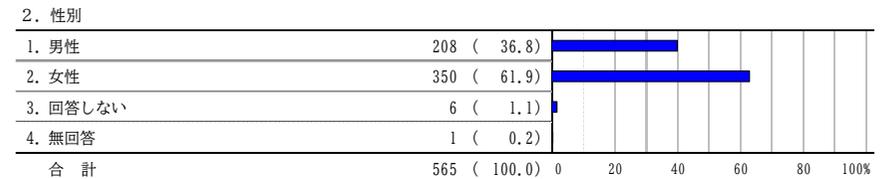
- ①実施時期： 令和5年1月～令和5年2月
- ②実施方法： アンケート票配布・回収方式
- ③対象者： 岩手県立大学、盛岡短期大学部、宮古短期大学部
令和4年度卒業年次生（698名）
- ④回答者： 565件（回収率：80.9%）
- ⑤回答者内訳： A-1.・2.のとおり

◆A あなたについてお伺いします

1. 回答者の学部・学科



2. 回答者の性別



II. 調査結果の抜粋・要約

◆B 教育全般について

問1. 学習目標の達成度

自ら設定した学習目標を「達成できた」「ほぼ達成できた」という肯定的回答は全体の88.1%となっている。

問2. 教育の仕組みや施設・教育機材、事務室の対応等に関する満足度

①学習をサポートしてくれる仕組み(教員との面談システム、学習支援コーナーなど自学支援の場)について、利用者に占める肯定的意見の割合は全体で97.6%となった。

②本学のカリキュラム構成について、利用者に占める肯定的意見の割合は全体で91.7%であった。

③時間割の科目配置については、利用者に占める肯定的意見の割合は全体で82.7%。

④講義概要(シラバス)のわかりやすさについて、利用者に占める肯定的意見の割合は全体で88.0%となっている。

⑤単位互換や留学等の教育の仕組みについて、利用者に占める肯定的意見の割合は全体で89.5%となっている。

⑥教室等の各種学習施設の充実度について、利用者に占める肯定的意見の割合は全体で91.3%となっている。

⑦PC、プロジェクター、専門機材等の教育機材の充実度について、利用者に占める肯定的意見の割合は全体で90.9%となっている。

⑧学生の経済的支援制度(奨学金、授業料免除)の充実度について、「利用したことがない」学生が全体の23.7%を占めるが、利用者の肯定的意見の割合は93.0%となっている。

⑨学生ホールやラウンジ等のくつろぎ空間、活動の場の充実度について、利用者に占める肯定的意見の割合は全体で85.9%となっている。

⑩売店、書籍販売の充実度について利用者に占める肯定的意見の割合は全体で89.5%となっている。

⑪学生食堂の充実度について、利用者に占める肯定的意見の割合は全体で89.9%である。

⑫課外活動施設の充実度について、利用者の肯定的意見の割合は88.4%となっている。

⑬～⑯事務室の対応について、滝沢キャンパス、宮古キャンパスの各事務室等の対応について、利用者の肯定的意見の割合は全体としてみれば全ての項目において90%以上となっている。

問3. 自学・自習の時間(1日平均、平日・休日別)

平日1時間以上自学・自習した学生は全体で45.0%、休日は54.0%となっている。

問4. 外国語習得のための取り組み

外国語を習得するため、正課の授業以外で何らかの取り組みをした学生の割合は、全体の22.8%。取り組みの内容としては、「検定試験(英検など)に挑戦した」12.7%、「通信教育や教材で自学した」9.4%等となっている。

問5. 海外渡航経験の有無と目的

在学中に海外渡航の経験を有する学生は全体の4.2%。

2016年度～2019年度は概ね18%～23%であったが、2020年度～2022年度は新型コロナウイルス感染症渦での影響が及んでいることが推察される。

問6. 「多文化共生」に対する理解度

「本学での授業や学生生活を通して、多文化共生に対する理解が深まったと思いますか」という設問に対して、「かなり深まったと思う」「ある程度深まったと思う」を合わせた回答割合は全体として54.7%となっている。

問7. キャリア形成科目の履修率

キャリア形成に関わる正課の授業を履修した割合は、全体の50.4%。学部ごとの差異が大きくみられる。

問8. 実務経験者による授業の履修率

民間会社社長など、学外の実務経験者による授業を履修した割合は全体の27.6%。学部・学科による大きな差異がみられる。

問9. インターンシップの体験割合

インターンシップ(単位認定の有無は問わない。資格要件の実習は除く。)を体験した学生の割合は全体の29.7%。

問10. 授業や研究補助等での地域企業や団体との連携

在学中に地域企業や団体と連携した経験があるのは全体の34.0%。

◆C 学生生活について

問11. 学内サークル活動

学内のサークル活動に参加していた割合は全体の61.8%。

問12. 地域活動等

ボランティア活動に参加したことのある学生が全体の26.2%、学外のクラブ・サークル活動9.4%、町内会などの活動4.6%、地域創造プログラム3.4%、国際交流活動3.0%となった。これらの活動に参加しなかった割合は58.9%であった。

問13. 犯罪や民事上の被害・トラブル経験

入学後の学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことのある学生の割合は全体の12.9%。

問 14. 悩みや不安の相談相手

悩みや不安があるとき、誰に相談しましたかという設問に対して、全体として最も多いのが「先輩・友人」81.8%、次いで「家族」65.1%、「教員」24.4%となっている。

問 15. 収入状況

1ヶ月の平均収入額は全体として総額 79,390 円、自宅生は 62,207 円、自宅生以外は 90,826 円であった。

問 15-2. アルバイトの実施状況

在学中、定期、不定期を問わず何らかの形態でアルバイトを行っていた学生は全体の 86.5%、「定期的に毎月」アルバイトを行っていた学生は全体の 50.4%である。

問 16. 学生生活の充実度

在学中の学生生活全般の充実度は全体の 91.9%が肯定的回答（「とても充実していた」「やや充実していた」の合計）となっている。

◆D 学内施設の利用について

問 17. 図書館利用頻度

図書館の利用頻度は割合の高い順に「月に 1～2 日」19.8%、「年に数回」19.3%、「ほとんど利用しない」17.5%、「試験期間だけ利用」16.5%、「週に 1～2 日」13.1%、となっている。全体として「月に 1～2 日以上利用」する学生は 42.5%である。

問 18. 図書館利用満足度

図書館の利用満足度（利用したことがある者の肯定的意見：「満足」+「どちらかといえば満足」）は全体的に高く、滝沢キャンパス、宮古キャンパスともにすべての項目において肯定的意見が概ね 95%を超えている。

問 19. 健康サポートセンター、学生サポートサロン等の利用満足度

健康サポートセンター、学生サポートサロン（滝沢キャンパス）、保健室、学生相談室（宮古キャンパス）について利用したことがない学生も多いが、利用満足度（利用したことがある者の肯定的意見：「満足」+「どちらかといえば満足」）は非常に高く、今回調査においては、全ての項目で 90%以上となっている。

E 卒業後の進路、就職支援等について

問 20. 卒業後の居住予定地

全体の 47.6%が卒業後の居住予定地が岩手県となっている。学部・学科ごとの差異もみられる。

また、卒業後の居住予定地（問 20）と出身地（4.）のクロス集計では、岩手県出身者（356 人）のうち 59.8%（213 人）が岩手県内に居住する予定となっている。

問 21. 卒業後の進路

卒業後の進路については、「就職（公務員以外）」が 62.8%、「就職（公務員）」15.9%、「[学部卒業生]大学院への進学(本学)」3.5%、「[学部卒業生]大学院への進学(本学以外の国内)」0.9%等となっている。

問 22. 卒業後、進学をするうえで重視した要因等

進学をする予定の学生が進路先を選ぶ上で重視した項目で、最も多かったのは「教育環境（施設含む）」62.7%、次いで「授業科目」50.7%、「地理的条件」40.0%、「取得できる資格」33.3%、「授業料」29.3%、「大学の知名度」21.3%、同率で「教員陣」21.3%と続いている。

問 22-2. 進学先への満足度

進学または海外留学先についての全体としては回答者 75 名のうち 56.0%（42 名）が「第一希望である」と回答している。また、「第一希望に近い」を含めると 77.3%（58 人）となる。一方、「まだ進学先が決まっていない」学生も 12.0%（9 名）いる。

問 23. 就職先地域に関する満足度

就職を希望した学生の就職先勤務地に関しては、全体として「当初は岩手県内に就職希望だった→岩手県内に就職する」学生は全体の 38.8%、「当初は岩手県内に就職希望だった→岩手県外に就職する」学生は 7.5%となっている。

問 23-2. 就職する地域を意識し始めた時期及び就職する地域が明確になった時期

四年制大学の学生が、就職する地域について意識し始めた時期は、4 学部 5 学科すべてにおいて大学 3 年生の時が最も高く（39.1%～54.8%）となっている。

就職する地域が明確になった時期について、四年制大学生でみるとソフトウェア情報学部を除く 3 学部 4 学科において大学 4 年生の時に明確になった割合が最も高く（45.1%～50.0%）となっている。

尚、ソフトウェア情報学部においては、大学 3 年生の時に明確になった割合が 50.5%となっている。

問 23-3. 就職する地域を選択した理由

全体として就職する地域を選択した理由について選択割合が 30%以上の項目は、「私生活が充実しそうだから、暮らしやすいから」が最も高く 62.6%、次いで「働きたい企業がある地域だから」44.5%、「自分の夢の実現や挑戦が出来るから」44.1%、「自分の出身地だから」39.2%となっている。

問 24. 就職先選択の重点項目

就職先を選択する場合に重視する項目で全体として選択割合が 40%を超えるのは、高い順に「仕事内容（やりがい）」66.0%、「賃金・賞与」63.5%、「勤務地」48.0%、「労働日数・時間」46.8%となっている。

問 25. 就職先への満足度

就職先について、「第 1 希望である」「第 1 希望に近い」と回答した割合は全体の 86.6%となっている。

問 25-2. 就職先と合同企業等説明会との関連性

<合同企業等説明会参加者のみの回答結果>でみると参加した学生（251 人）の内、就職先が「話を聞いた企業等」と回答したのは 78 人（31.1%）となっている。

問 26. 岩手県出身者の U ターン希望

岩手県出身者で岩手県以外の都道府県に就職等を予定している者のうち、「何らかの時期で（岩手県内へ）U ターンを考えている」と回答した割合は全体としては 35.3%となっている。

問27. 就職支援サービスの満足度

大学の就職支援サービスを利用したことがある学生の満足度は、項目ごとに若干の差異があるが、滝沢キャンパスにおいては全ての項目について、「利用したことがある者」の肯定的意見（「満足」+「どちらかといえば満足」）の割合は90%以上となっている。

また、宮古キャンパスにおいては「利用したことがある者」の肯定的意見（「満足」+「どちらかといえば満足」）の割合は86.0%以上となっている。

◆F 大学への要望等について

問28. 本学と本学の学生に関するイメージ

卒業年次生が感じる本学のイメージについて、全体として選択割合が30%以上の項目は高い順に「学部・学科が充実している」44.4%、次いで「就職状況が良い」40.5%、「地域社会・文化に貢献している」38.2%、「地域産業に貢献している」36.3%、「教育機関としてのビジョンがある」30.3%となっている。

また、卒業年次生が感じる学生のイメージについて、選択割合が高い5項目は、高い順位に「個性的である」43.2%、次いで「礼儀正しい」34.2%、「コミュニケーション能力が高い」28.5%、「面白味がある」28.0%、「勉強・研究に熱心である」27.3%となっている。